☺「福岡市　子どもと本の日」通信　Ｎｏ．１３５　　平成２８年６月２３日

❀　毎月２３日は「福岡市 子どもと本の日」です　❀

～　子どもの読書活動を推進しましょう　～

□　ご存じでしたか？　　今年は「 学 校 図 書 館 年 」です！

今年を**「学校図書館年」**とすることは，河村健夫氏（学校図書館議員連盟会長で元文部科学大臣）を代表とする『「学校図書館年」を広める会』により，昨年９月に制定されました。（発起人は，国立国会図書館長，全国学校図書館協議会会長，日本図書館協会理事長，学校図書館整備推進会議議長ほか９名。）

実は，今年，学校図書館に関連した大会が二つ開かれます。一つは，日本で初めての開催となる，**「国際学校図書館協会東京大会（2016　ＩＡＳＬ東京大会）」**です。世界中から学校図書館関係者や研究者が集まり，学校図書館教育に関する研究・実践発表，学校図書館視察などが行われます。また，その２週間前には，神戸市において**「第40回全国学校図書館研究大会」**が開かれます。（これら二つの大会の照会先は，下の枠内をご覧ください。）

さらに，学校司書の法制化等，学校図書館の重要性に対する認識が進み，活動が活性化される中，国外からも日本の学校図書館への関心が高まっているという状況に鑑み，今年を**「学校図書館年」**とすることが制定されました。

2016年は、学校図書館年。

学校図書館の意義・目的・活動等について，多くの人たちの理解を深めるとともに，学校・団体・機関等で一層の連携を図ることで，学校図書館と学校教育の充実・発展につながることが期待されます。最後に，2016ＩＡＳＬ東京大会組織委員会委員長である，大滝則忠氏（元国立国会図書館長）のことばを紹介します。

「今や，学校図書館は校内だけの活動から，学校と世界を結ぶ知のネットワークの拠点にもなっています。」

♪　第40回全国学校図書館研究大会のホームページ：
http://www.j-sla.or.jp/seminar/40th-kobe.html
・開催日：平成28年　８月８日～１０日
・会　場：神戸国際展示場，神戸学院大学ポートアイランドキャンパス

♪　２０１６　IASL東京大会のホームページ：　http://iasl2016.org/ja
・開催日：平成28年　８月２２日～２６日
・会　場：明治大学駿河台キャンパス

□　小学校図書館教育研究委員会　の第１回定例会が行われました。

小学校図書館教育研究委員会が再度立ち上げられ，去る 5 月 16 日，福岡市教育センターに於いて第 1 回定例会が行われました。これにより，小学校の教科等研究委員会は 15 委員会で構成されることになりました。

当日は小学校教科等研究委員会総会として，初めに全１５の研究委員会が一堂に会した全体会が行われ，各研究委員会の委員長，副委員長，担当指導主事が紹介された後，研究の方向性ならびに進め方について確認がなされました。全体会に続いて，各会場に分かれて研究委員会毎に本年度最初の定例会が行われました。

第 1 回の定例会は西川秋生副委員長（福岡市立小笹小学校教頭）の進行にそって，吉田祐子委員長（福岡市立名島小学校校長）の次のような挨拶から始められました。

「４年ぶりの復活をうれしく思っています。これも，学校図書館教育の重要性が再認識されたからこそと思います。とはいえ，図書館教育は国語科がするもの，という声がいまだに聞かれることが残念です。どの教科・領域においても，子どもたちが実際に図書資料を活用しながら行う学習スタイルは，今後ますます求められることになるでしょう。私たちの研究委員会がそれぞれの学校の図書館教育の推進に少しでも貢献できる会となることを目指して，みんなでがんばりましょう。」

続いて，当研究委員会担当の大田隆志主任指導主事（福岡市教育センター）から，当研究委員会への期待が述べられた後，各区から推薦された研究委員の自己紹介に移りました。

自己紹介では，「この委員会が再び立ち上がるのを心待ちにしていました。」「かつてこの委員会で学んだことがたくさんありました。また，活動できるようになってうれしく思います。」など，小学校図書館教育研究委員会の復活を喜ぶ声がたくさん聞かれました。

この後，本年度の活動計画の確認と，組織づくり，研究内容と方法等について協議がなされ，研究主題は，６月に行われる第 2 回の定例会において決定することが確認されました。（＊）小学校・中学校のどちらにも学校図書館教育の研究会（研究委員会）が設置されたことにより，本市の学校図書館教育がますます前進することが期待されます。

＊６月の定例において，今年度の研究主題が**「教科学習等との関連を図る学校図書館の活性化～計画的な図書館活用と多様な読書活動を通して～」**に決まりました。

（福岡市小学校図書館教育研究委員会　第１回定例会の様子）

・正面中央が吉田祐子委員長，その右側が当研究委員会担当の大田主任指導主事，左側が西川秋生副委員長

・配布された資料を熱心に見入る当研究委員会の研究委員さんたち

□ Ｈｅｌｌｏ！ 学校図書館　～ 宮竹小学校 編 ～

宮竹小学校の学校図書館には**「森のとしょかん」**という名前があります。館内に入るとその名前が書かれた看板が目に入ります。この名前は 2008 年当時の在校生と先生方で考えたそうです。学校の近くに宮竹の森があり，図書館は森のようにたくさんの本で囲まれいることから，この名前にしたそうです。また，奥の壁面は大きな手作りの森の風景で飾られています。

①

（写真①）「森のとしょかん」の看板
当時の校長先生が書かれたそうです。

②

（写真②）奥の壁面：森の風景の貼り絵
まん中の書架をはさんで，手前側には低い机が，奥側には高い机が置かれてあります。また，書架の高さが低めの同じ高さにそろえてあるため，部屋全体の見通しが良くなっています。

＊子どもの生活・学習に密着

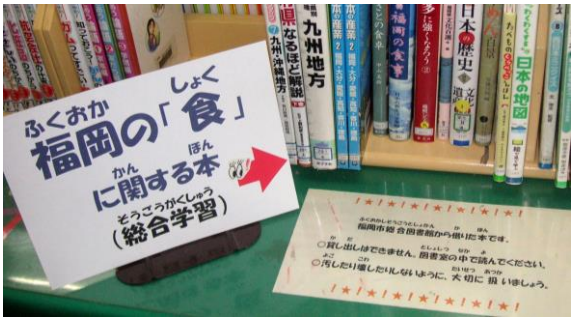
館内には，読書への関心，学習への意欲を高めることにつながる，様々なコーナーが設けてありります。写真③は**月替わりのテーマ本**のコーナーです。５月は運動会が行われることから，スポーツがテーマになっていました。学校行事にあわせてテーマを決め，コーナーを設けることは，子どもの生活と結びつける良い方法です。

③

④

今，授業で学習中の内容に関する本をすぐ見つけられるように，**教科書にでてくる本のコーナー**（写真④）が設けてあります。

⑤



また，宮竹小学校では，総合的な学習の時間で「食育」にも積極的に取り組まれていますが，学校図書館内の蔵書で不足する分を補うために，**福岡市学校図書館支援センターから学習用支援図書を**利用されていました。（写真⑤）授業の内容と密着させ，子どもたちの学習活動への関心を高める配慮も万全です。

□　福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（６～７月分）

福岡アジア美術館　７月の「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」

（７　月）10 日（日），12 日（火），24 日（日）
♪時　間　11:30～12:00，13:00～13:30（1 日 2 回）
♪会　場　７階「キッズコーナー」（申込み不要）
＊下に記載しています，**「おいでよ！絵本ミュージアム 2016」**の会期中は，毎日 13:00～，13:30～の１日２回，彫刻ラウンジ(8 階)での開催になります。

✤ お知らせです！

♪**「おいでよ！絵本ミュージアム２０１６」の開催**について
　アジア美術館，夏の恒例事業となっています，標記の展覧会が今年も下記の日程で行われます。詳しくは次号でお知らせします。
〇期　間：７月２６日（火）～８月２１日（日）
〇会　場：企画ギャラリー，彫刻ラウンジなど（７階・８階）

福岡市総合図書館　７月の「おはなし会」

（７　月）２日（土），３日（日），９（土），　１０日（日），１６日（土），１７日（日），
２３日（土），２４日（日），３０日（土），３１日（日）
＊７月 24 日（日）は，**夏休み特別プログラム**として**「一日おはなし会」**が開催されます。
（一日おはなし会の実施時間）午前の部 10:30 ～ 11:50　午後の部 13:00 ～ 16:00

♪**時間**（24 日以外）**と場所**（24 日を含む）
土曜日：１４：３０～　（幼児向け）
日曜日：１４：３０～　（幼児向け）
　　１５：１５～　（幼児～小学生向け）
場　所:「こども図書館　おはなしの家」

♪**６月の展示テーマについて**

　今年は福岡市総合図書館が開館して，ちょうど 20 年目にあたることから，年間を通して様々な記念事業が行われます。
　こども図書館では，総合図書館が開館した 1996 年に刊行された児童書やその年に話題になった児童書の数々が展示されています。（写真右上）

✤ お知らせです！

♪**「夏休み　図書館の達人講座」～図書館員が教える調べ方のコツ～　について**
小学校の４・５・６年生を対象とした，上記の講座が今年も実施されます。
応募要領：７月中旬に発行される「市政だより（7 月 15 日号）」をご覧ください。

□ 図書館歳時記 （７月）

＊特集や企画等の展示の参考にどうぞ！

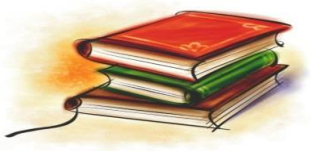
❀ 記念日関係

＊７月　１日：**「童話・童謡の日」**
大正７年のこの日，児童文学者・鈴木三重吉により，童話童謡雑誌「赤い鳥」が創刊されたことにちなみ，日本童謡協会が 1984 年に制定しました。

＊７月　４日：**「不思議の国のアリス」が刊行された日**
明治 41 年「少女の友」という雑誌に「アリス物語」というタイトルで連載物語として掲載されたのが初訳です。日本では続編の「鏡の国のアリス」の方が先に翻訳されています。

＊７月１０日：**初めて文庫本が創刊された日**
昭和２年のこの日，「万人の必読すべき真に古典的価値のある書」を低価格で広く普及することを目的に岩波文庫が創刊されました。日本初の文庫本の誕生です。ちなみに，最初の刊行作品は「新訓万葉集」などでした。

＊７月２３日：**「日本新聞協会」設立**
社団法人「日本新聞協会」は，我が国の新聞，放送，通信の企業・個人で構成される業界団体です。1946 年のこの日，新聞社などが倫理の向上を目指す自主的な組織として創立されました。



❀ ６月・７月に関係する文学者・詩人・俳人たち

♪ ６月・７月生まれの主な文学関係者

６月２７日　小泉八雲　（1850）
６月２８日　佐野洋子　（1938）
「百万回生きたねこ」
６月２９日　ｻﾝ=ﾃｸﾞｼﾞｭﾍﾟﾘ（1900）
「星の王子さま」

７月　２日　ﾍﾙﾏﾝ･ﾍｯｾ　（1877）
７月１５日　国木田独歩　（1871）
７月２１日　ﾍﾐﾝｸﾞｳｪｲ　（1899）
７月２３日　幸田露伴　（1867）

♫ ６月・７月に亡くなった主な文学関係者

６月２３日　国木田独歩　（1908）
６月２３日　壺井　榮　（1967）
「二十四の瞳」
６月２７日　ﾄｰﾍﾞ･ﾔﾝｿﾝ　（2001）
「ムーミン」
７月　２日　ﾍﾐﾝｸﾞｳｪｲ　（1961）

７月　７日　ﾖﾊﾝﾅ･ｽﾋﾟﾘ　（1901）
「アルプスの少女ハイジ」
７月　７日　ｱｰｻｰ･ｺﾅﾝ･ﾄﾞｲﾙ（1930）
「シャーロック・ホームズ」
７月　９日　森　鴎外　（1922）
７月３１日　ｻﾝ=ﾃｸﾞｼﾞｭﾍﾟﾘ（1944）

□　役立つサイト見つけ！　～ 教育家庭新聞 「学校図書館Ｑ＆Ａ」～

今年が「学校図書館年」であることを知ったのは，上記の新聞（Web 版）の記事からでした。よく見ると，その記事の右側の欄に連載記事の紹介欄があり，その中に「学校図書館Ｑ＆Ａ」と記されていたのです。そこをクリックしたところ，**「学校図書館関連ニュース」**として，標記の新聞にこれまで掲載された記事の見出しの一覧（見出しをクリックすることで，その記事が読めます。）さらに二つの連載記事が紹介されていました。

連載記事の一つは**「みんなで学ぶ”学校図書館“なるほど！Ｑ＆Ａ」**として，学校図書館を活用するために必要なノウハウや疑問について，現場で活躍する先生方がＱ＆Ａ形式で答えたもの。（質問例：「子どもたちが学校図書館に訪れたくなり，本や学校図書館に興味を持つ，掲示やディスプレイのアイデアを教えてください」「調べ学習のために，学校図書館を充実させるためのポイントは何ですか」「日本十進分類法を子どもたちが楽しみながら学ぶ方法を教えてください」など。）

もう一つは**「学校図書館訪問記」**として，主に関東地区の小・中・高等学校の学校図書館を紹介する記事が，どちらも過去３年間の間に掲載されたものがまとめてありました。

参考になることや，大いにヒントになることが，見つかるのではないでしょうか。

☞　**教育家庭新聞ホームページのアドレス：**
http://www.kknews.co.jp/

□　図 書 館 員 の ひ み つ の 本 棚　《 No.１２２ 》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんが，毎月素敵な本を紹介してくださる楽しみなコーナー。今回は多感な年齢の子どもたちにとって，また，大人が読んでも，読み応えを味わえる内容のようです。

ケルト神話・伝説が土台になっているとのことですが，神話や伝承というのはその国の文化やその民族の思考の土台を形成している要因の一つでもあり，異文化理解のために，ぜひ知っておきたい知識となるものでもあります。実際，外国のファンタジー映画やゲームなどにも，海外の神話をヒントにして作られたものがたくさんあります。その意味で，映画ファン，ゲーム好きの皆さんにも一読をおすすめします！

☆ 今月の本：**『ふくろう模様の皿』**
（アラン・ガーナー／作　神宮　輝夫／訳　評論社　1972 年　1944 円）

☞　添付ファイルをご覧ください。

♪ あとがきにかえて　＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

・梅雨に入り，運動場で遊ぶことができなった子どもたちが学校図書館につめかけ，にぎわう日が多くなることでしょう。これを機に，本のおもしろさを子どもたちが実感し，進んで読書に親しむ姿勢につながるとうれしいですね。

・6 月 11 日と 18 日の両日，福岡市総合図書館にて小学校５・６年生を対象として，「小学生読書リーダー養成講座」が実施されました。その模様は，次号の通信で詳しく報告いたします。

・この通信ではできるだけ色々な学校の活動例を紹介したいと思っています。学校の取り組みとして，あるいは，担当の先生や学校司書さんがそれぞれの学校で実践されていることなど，ぜひ記事にまとめたいと思っています。さまざまな読書活動を，できるだけ多くの学校に広めるためにも，ぜひ各学校・園からの情報提供をお願いいたします。連絡先は下記のとおりです。どしどし情報をお寄せいただきますよう，重ねてお願いいたします。

発　行：　福岡市教育委員会　生涯学習課
電　話：　０９２－７１１－４６５５
ＦＡＸ：　０９２－７３３－５５３８